

本報道資料は、別途、NIFREL(ニフレル)からも大阪府政記者会、大阪市政記者クラブ、吹田日刊記者クラブに配布しております。

2016年4月21日

報道関係各位

国立民族学博物館



国立民族学博物館
National Museum of Ethnology

ACTUS®

『ニフレル×みんぱく×アクタス』によるトークセッション

「眠りに目覚めよう ～生きものと人の“すみか”と、より良い眠りの工夫～」参加者募集！

国立民族学博物館(館長:須藤健一)は、「EXPOCITY」の生きているミュージアム「NIFREL(ニフレル)」とともに、2016年5月15日(日)に、トークセッション「眠りに目覚めよう ～生きものと人の“すみか”と、より良い眠りの工夫～」を開催いたします。



春夏秋冬や昼と夜、1ヶ月、そして1日といった、時とともに巡る変化には色々なリズムがあります。これは地球の公転や自転、そして太陽と月が奏でる昼夜交代といった基本的なリズムです。私たち人間も含め、生きものはこの自然のリズムに沿って暮らすことが心地良く、そのためにぐっすりと眠ることができる“すみか”は、生きていくために不可欠です。そこで、生きものと人の眠りの“同じこと・違うこと”の中から、その寝方や理由にヒントを得て、元気に暮らすためのよりよい眠りのアイデアについて、トークセッションを行います。

当日は、ニフレルの小畑館長、国立民族学博物館の野林教授による講演のほか、ライフスタイルストアの先駆けとして、日本の生活デザインの質的向上に貢献する株式会社アクタス、さらには京都大学大学院からもゲストをお招きし、トークセッションを展開します。当日ご参加の皆様には、株式会社アクタスよりイタリアのブランドCULTI(クルティ)のキャンドルをプレゼントします。

なお、このトークセッションは、ニフレルで開催中の『春にふれる「生きものすみか」』の関連イベントです。

【眠りに目覚めよう ～生きものと人の“すみか”と、より良い眠りの工夫～】

《講演1》「ニフレルスリープ ～生きものいろいろな寝方～」小畑洋(ニフレル館長)

《講演2》「起床天決 ～台湾の島の暮らしのねむりかた～」野林厚志(国立民族学博物館教授)

《講演3》トークセッション「眠りに目覚めよう！～生きものと人の“すみか”とより良い眠りの工夫～」

小畑洋×野林厚志×吉田桜子(株式会社アクタス) 進行:中村孝之(京都大学大学院/生活空間研究室代表)

本イベントに関する報道関係のお問い合わせ先

国立民族学博物館 広報担当 小埜 TEL:06-6878-8560 MAIL: koho@idc.minpaku.ac.jp

NIFREL(ニフレル) PR・広報担当 田井、西前 TEL:06-6876-2204 FAX:06-6876-2235 MAIL: nifrel.info@kaiyukan.com

<募集要項>

- 日時/場所 2016年5月15日(日) 13:30~15:00 ニフレル3階セミナールーム
- 対象/人数 大人(16歳以上または高校生) 50名様 ※15歳以下の方の同伴はご遠慮願います。
- 料 金 無料 (ニフレル入館料が必要)
- 応募方法 下記の①~③を明記のうえ、下記の専用アドレスにお申込みください。
専用アドレス nifrel_talk@kaiyukan.com
 - ①代表者の氏名、年齢
 - ②代表者の住所、メールアドレス、携帯電話番号
 - ③同伴者の氏名、年齢 (同伴者1名までご応募いただけます。)
 ※個人情報本イベントに関わる目的にのみ使用いたします。
- 締め切り 2016年5月8日(日)着信有効
- 当選発表 応募者多数の場合は厳正なる抽選を行い5月10日(火)に当選者にのみメールでご連絡します。
- お問い合わせ NIFREL事務局 0570-022060(ナビダイヤル)
- 主 催 生きているミュージアム「NIFREL」
- 共 催 国立民族学博物館
- 協 賛 株式会社アクタス

<登壇者紹介>

**小畑洋(おばた ひろし)**

生きているミュージアム「NIFREL(ニフレル)」館長

海遊館開業当初より飼育担当として勤務し、国内では類を見ないジンベエザメの陸上長距離輸送や、希少なイトマキエイの飼育展示にも世界で初めて成功する。海遊館最大のリニューアル「新体感エリア」及び「生きているミュージアム“ニフレル”」建設の中心人物となって構想・監修を行う。2015年4月にニフレル館長に就任。

**野林厚志(のばやし あつし)**

国立民族学博物館文化資源研究センター・センター長

大学時代から台湾に通い、人間と動物との関係に関わる人類学、民族考古学のフィールド調査を行ってきた。とくに、イノシシやブタは食べてしまいたいくらい愛しており、それらに関わる民族文化や社会の規範に強い関心をもつ。最近の著書に『台湾イノシシを追う』(2014年・臨川書店)等。

**吉田桜子(よしだ おうこ)**

株式会社アクタス マーチャンダイジング部雑貨開発運営チームリーダー

2001年アクタス入社。テキスタイル・雑貨のバイヤーを経て、現在、雑貨チームのリーダー。年6回程度、商品の買付け・開発でスウェーデン、フランス、イタリア、タイ、インドなどに赴く。スーホルムカフェのバッグ企画開発の他、最近ではPBブランドの生地開発、欧州テキスタイルブランドのインポートなどを行う。

**中村孝之(なかむら たかゆき)**

京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻研究員／生活空間研究室代表

子どもから高齢者までの様々な暮らし方や、睡眠、食生活などの生活スタイルに対応する居住空間の研究開発を実践。住宅のストック価値を高めるリノベーションのプロデュースも手掛ける。元積水ハウス(株)住生活研究所長。